取扱説明書

電気かんな
GHO 10-82 型

このたびはボッシュの電気かんな「GHO 10-82」をお買い求めいただき、ありがとうございます。

- ご使用になる前に、この［取扱説明書］をよくお読みになり正しくお使いください。
- お読みになった後は大切に保管し、わからないことが起きたとき、もう一度お読みください。

BOSCH

目　　次

安全上のご注意 …… 2
　警　　告 …… 3
本機使用上のご注意 …… 8
　警　　告 …… 8
　注　　意 …… 9
各部の名称 …… 10
ご使用前に …… 12
各部の操作 …… 13
作業をする …… 16
メンテナンス …… 21
故障かな？と思ったら …… 22
使用済電動工具のリサイクル …… 23
仕　　様 …… 24

安 全 上 の ご 注 意

●火災、感電、けがなど事故を未然に防ぐため、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください。
●ご使用前に、この『安全上のご注意』をすべてよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
●お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
●他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

⚠警告

- 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意

- 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

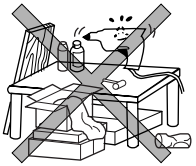
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

電動工具全般についての注意事項

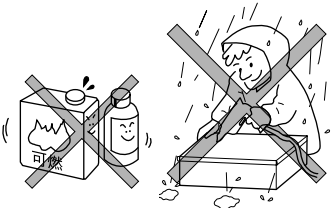
ここでは、電動工具全般の『安全上のご注意』についてご説明します。今回お買い求めいただいた電気かんなには、当てはまらない項目も含まれています。

⚠ 警　告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。



2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、又はぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



3. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、アースされているものに身体を接触させないようにしてください。

   （例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）

4. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、又は錠のかかる所に保管してください。

6. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。
   - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。

8. きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

9. 保護めがねを使用してください。

- 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉塵の多い作業では、防じんマスクを併用してください。

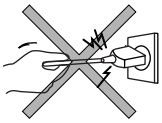
10. 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。

11. 集塵装置が接続できるものは接続して使用してください。

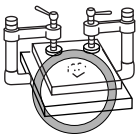
- 電動工具に集塵機などが接続できる場合には、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。

12. コードを乱暴に扱わないでください。



- コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

13. 加工するものをしっかりと固定してください。



- 加工するものを固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

14. 無理な姿勢で作業をしないでください。

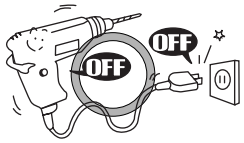
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。

15. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
- 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースなどが付かないようにしてください。

16. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。

- 使用しない、又は修理する場合。
- 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他危険が予想される場合。



17. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。

- 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取り外してあることを確認してください。

18. 不意な始動は避けてください。

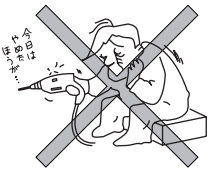
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

19. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、又はキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

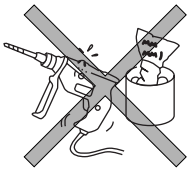
20. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。



21. 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整及び締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
  取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターへ修理を依頼してください。
- スイッチで始動、及び停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。



22. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書、及びボッシュ電動工具カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

23. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。

- この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い求めの販売店又はボッシュ電動工具サービスセンターにお申しつけください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

本機使用上のご注意

先に電動工具一般の安全上の注意について申し述べましたが、本機使用に際しさらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
   - 表示を超える電圧で使用しますと、回転数が異常に高速となりけがの原因になります。

2. 使用中は、機体を確実に保持してください。
   - 確実に保持していないと、けがの原因になります。

3. 切削する材料は、安定性のよい台に置いて作業してください。
   - 台が不安定ですと、けがの原因になります。

4. 材料を手に持っての切削はしないでください。
   - かんな刃に触れ、けがの原因になります。

5. 機体を万力などで保持して、かんな刃を上向き（定置形）にした使い方はしないでください。
   - かんな刃に手や身体が触れ、けがの原因になります。

6. 使用中は、切粉排出口に指などを入れないでください。
   - 思わぬけがの原因になります。

7. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは直ちに、スイッチを切って使用を中止し、お求めの販売店、または修理認定工場に点検、修理を依頼してください。
   - そのまま使用していると、けがの原因になります。

8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、かんな刃や機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
   - 破損、亀裂があるとけがの原因になります。

⚠ 注　意

1. かんな刃や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
   - 確実でないと、はずれたりし、けがの原因になります。

2. かんな刃の取扱いには、手袋、布などで手を保護し、十分注意してください。
   - 不用意に扱うと、けがの原因になります。

3. 使用中は、機体の底面に手など身体を近づけないでください。
   - かんな刃に触れ、けがの原因になります。

4. かんな刃の交換や調整後は、かんな刃取付ボルトを十分に締め付けてください。
   - ボルトがゆるむと、思わぬけがの原因になります。

5. スイッチを切った後も、惰性で回転しているかんな刃に注意してください。
   - 手などが触れると、けがの原因になります。

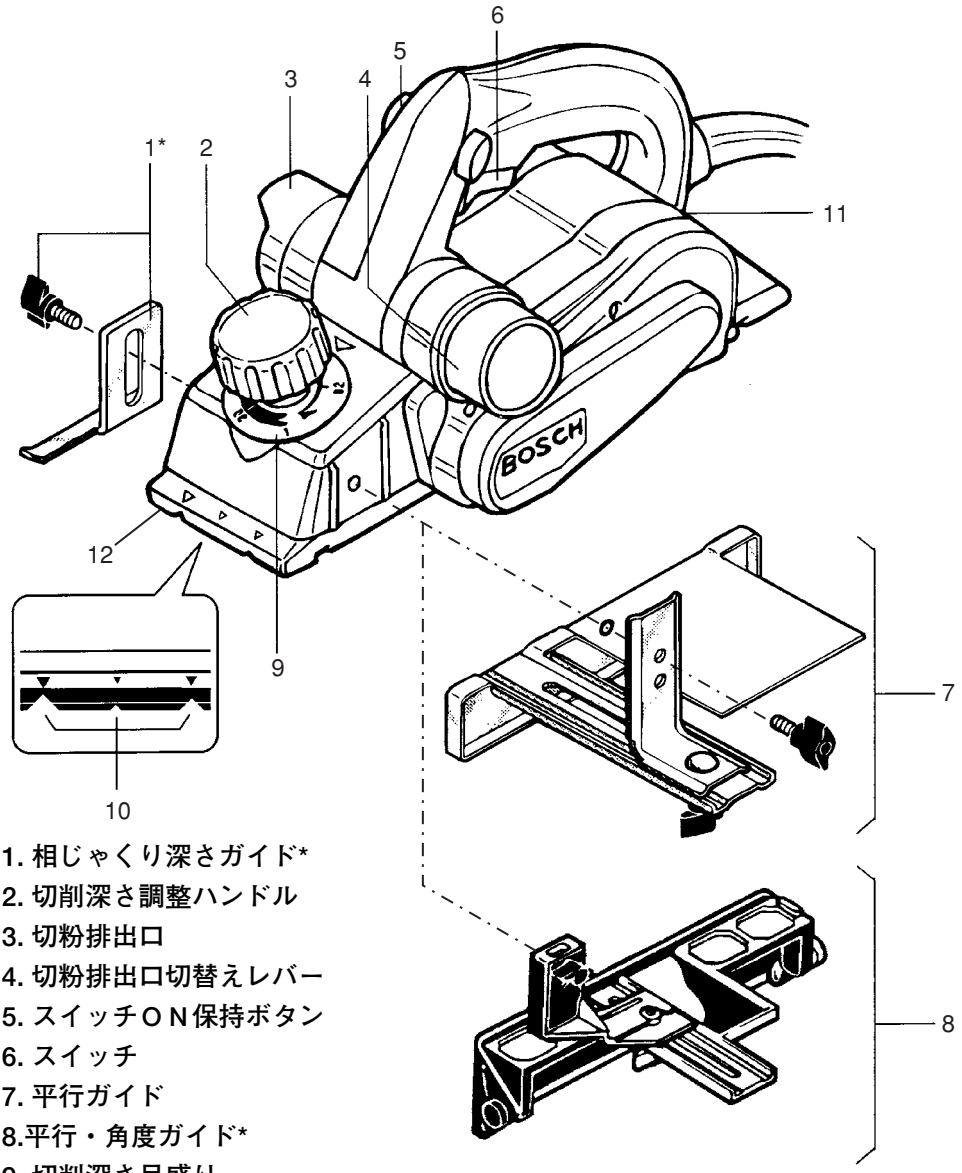
6. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
   - けがの原因になります。

7. 使用中は、軍手など手袋を着用しないでください。
   - かんな刃に巻き込まれ、けがの原因になります。

8. 木材に、釘や砂などの異物がないことを作業前に十分確かめてください。
   - 刃こぼれだけでなく、反発により思わぬけがの原因になります。

9. 運転中のかんな刃にコードを接触させないでください。
   - 電源ショートや断線・漏電などの事故の原因になります。

各部の名称

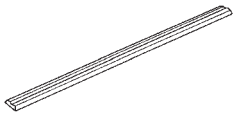


1. 相じゃくり深さガイド*
2. 切削深さ調整ハンドル
3. 切粉排出口
4. 切粉排出口切替えレバー
5. スイッチＯＮ保持ボタン
6. スイッチ
7. 平行ガイド
8. 平行・角度ガイド*
9. 切削深さ目盛り
10. Ｖ溝ガイド
11. パーキングスタンド
12. フロントベースプレート

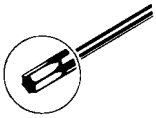
*別売アクセサリー

標 準 ア ク セ サ リ ー

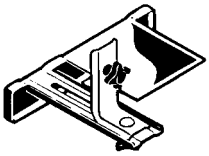
かんな刃
品番：2 607 001 397（2本入り）



トルクスレンチ　1本
品番：2 607 950 025

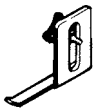


平行ガイド
品番：2 607 000 102

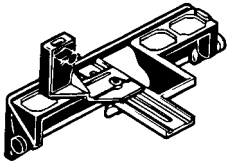


別 売 ア ク セ サ リ ー

相じゃくり深さガイド
品番：1 608 132 006

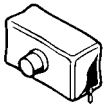


平行・角度ガイド
品番：2 607 001 077



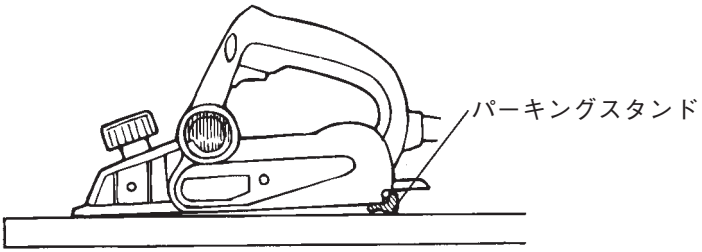
吸じんアダプター
品番：2 605 702 022

吸じん袋
品番：2 605 411 035

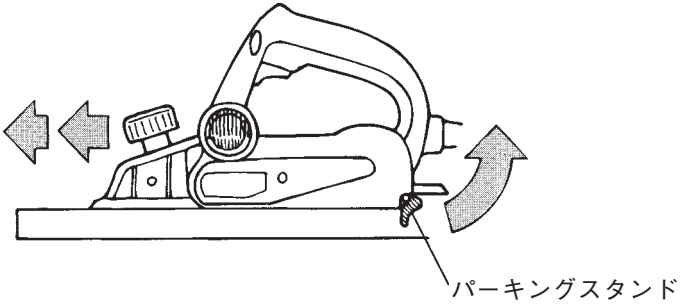


- 本取扱説明書の序文にあります「安全上のご注意」を、よくお読みください。
- 使用電源をお確かめください。　（ＡＣ100Ｖ・50-60Hz）
- 電源コード及びプラグは常によい状態を保ち、損傷のある場合は直ちに交換してください。
- プラグを電源に差し込む前に、本機のスイッチが「ＯＦＦ」になっていることを確かめてください。
- パーキングスタンド（標準アクセサリー）を本体後部に取り付けてください。

（未始動時）

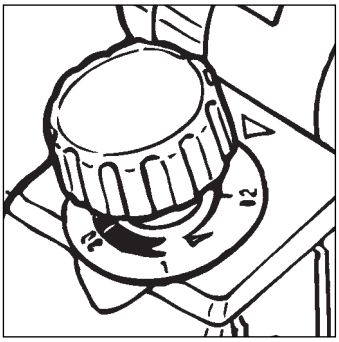


（始動時）



- パーキングスタンドは未始動時は、かんな刃と、床面との接触を防ぎます。
  また始動時は、パーキングスタンドが上へ跳ね上がり、問題なく切削ができます。

切削深さの調節



切削深さは切削深さ調整ハンドル2を使用し調整してください。
切削深さ調整ハンドル2をプラス方向（時計回り）に回すと切削深さは深くなり、マイナス方向（反時計方向）に回すと切削深さは浅くなります。

⚠注意 ：目盛りの数値は切削深さを表しているものではなく、おおまかな調整値を表したものです。

スイッチの入れ方

スイッチの操作方法

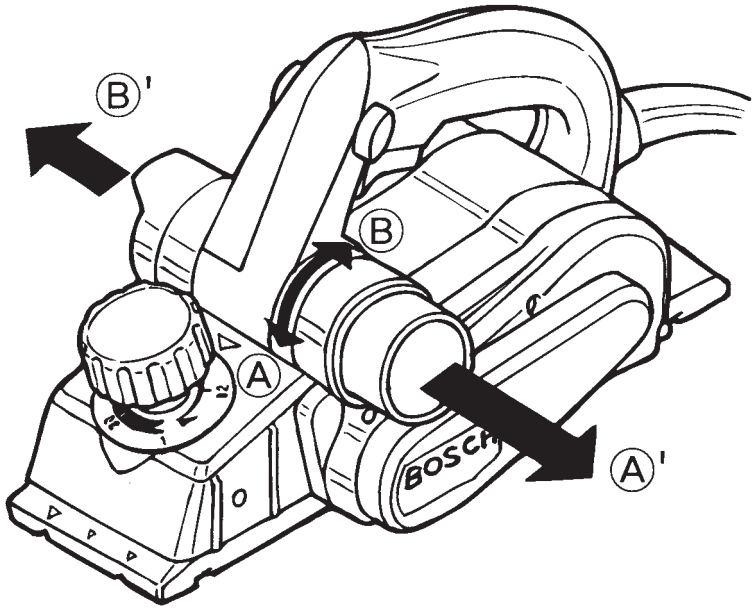
電源 ㊓ ：スイッチ6を引てください。機体が始動します。
電源 ㊒ ：スイッチ6を放してください。機体が停止します。

スイッチを入れたまま保持する

電源 ㊓ ：スイッチ6を引き、スイッチＯＮ保持ボタン5を押してください。
スイッチが入った状態で保持されます。
電源 ㊒ ：スイッチ6を引いてください。ロックが解除され機体は停止します。

切粉排出口切替操作

排出口の向き（Ⓐ’、Ⓑ’）は、切粉排出口切替レバーによって選択できます。



切粉排出口切替レバー

Ⓐ（本機前方向）へ倒すと、Ⓐ’方向へ切粉は排出されます。
Ⓑ（本機後方向）へ倒すと、Ⓑ’方向へ切粉は排出されます。

（注意）：切粉排出口切替レバーは、必ずⒶⒷどちらかの方向へ完全に倒してください。途中の位置にあると、切粉が排出されない場合があります。

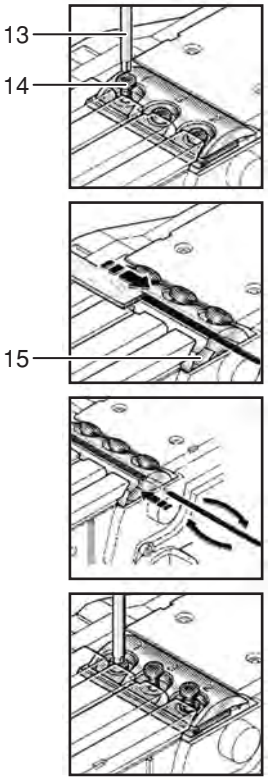
かんな刃の取り付け、取りはずし方

⚠警告 ：かんな刃の取り付け、取りはずしの際は、必ずメインスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

⚠注意 ：かんな刃の取り扱いには、必ず手袋、布などで手を保護し十分注意してください。

⚠注意 ：かんな刃の締め付けは付属のトルクスレンチ13で十分に締め付けてください。かんな刃は両刃になっていますので、反対側の刃を使用されるときは、刃に付着したヤニや汚れをきれいに取り除いてから取り付けてください。

かんな刃の交換方法



1 本機の底面を上向きにし、締付けネジ14を緩められる位置にカッターヘッド15（かんな刃が取り付けられている回転する部分）を回します。（カッターヘッドは手で回せます。）

2 トルクスレンチ13で締付けネジ14を順に3本を緩めます。（図参照）

3 かんな刃を取出し、反転もしくは新しい刃と交換し、カッターヘッド15の間に組み込みます。
この時、組み込んだかんな刃の両端のはみ出し量が左右均等になるようにしてください。

4 トルクスレンチ13で締付けネジ14を順に3本を締め付けてください。（図参照）

5 交換後は手でカッターヘッド15を回し、かんな刃がどこにもあたっていない事を確認してください。
（かんな刃がどこかに当たっているようでしたら、締付けネジ14を緩めかんな刃の位置を再度調整してください。）

⚠注意 ：電源プラグを差し込む前に、必ずかんな刃が十分に締め付けられているか確認をしてください。

削り方

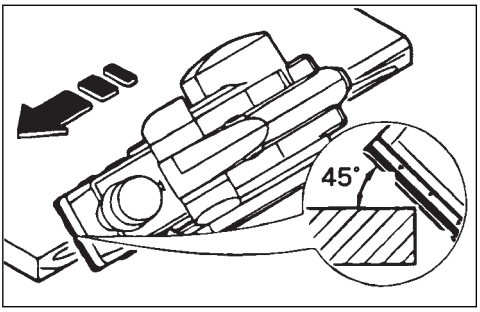
1 切削する材料をしっかりと固定してください。
2 フロントベースプレート12を材料に乗せ、かんな刃が材料に当たらない位置でスイッチを入れ、回転が一定になりましたら本機が、材料の上を滑らかに動くように静かに前へ進めます。

〈アドバイス〉

- 本機底面（ベースプレート）と、材料が常に平均に当たるように削ります。

面取り作業をする

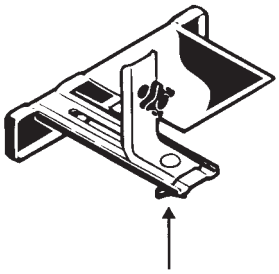
- 材料の角を削りとる面取り作業は、本機のフロントベースプレート12にありますV溝ガイド10を材料の角に合わせ、本機を図のように傾けて削ってください。
- 3本のV溝ガイドにより任意面幅を一度に面取りできます。



平行ガイドを使う

〔本機への取り付け方はP.10を参照してください〕

⚠注意 ：取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

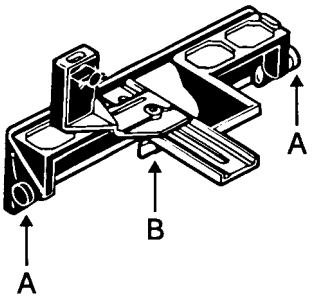


幅の狭い材料の切削や材料を一定幅削りたい場合に使います。直線性がでてきれいに仕上ります。
※「相じゃくり」を作る場合は、相じゃくり深さガイドを合わせて使用します。

平行・角度ガイドを使う　※別売アクセサリー

〔本機への取り付け方はP.10を参照してください〕

⚠注意 ：取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。



幅の狭い材料の切削や材料を一定幅削りたい場合または、角度のあるもの、角度をつけて削りたい場合に使います。直線性がでてきれいに仕上ります。
※「相じゃくり」「水返し」を作る場合は、相じゃくり深さガイドを合わせて使用します。

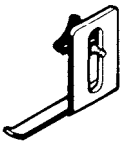
A：角度調整ネジ（0～45°まで調整できます）
B：切削幅調整ネジ

相じゃくり深さガイドを使う　※別売アクセサリー

〔本機への取り付け方はP.10を参照してください〕

「相じゃくり」をしない時は取り付けないでください。

⚠注意 ：取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。



「相じゃくり」の深さを一定にする場合に使います。

「相じゃくり」をつくる

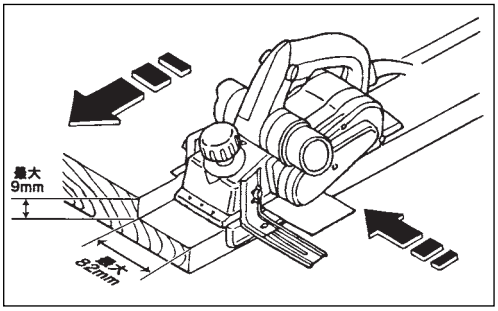
- 本機へは、

  相じゃくり深さガイド　＋　平行・角度ガイド

  もしくは

  平行ガイド

  を取り付けます。
- 相じゃくりの深さ・幅を設定し、ガイドに沿って切削します。（最大深さ



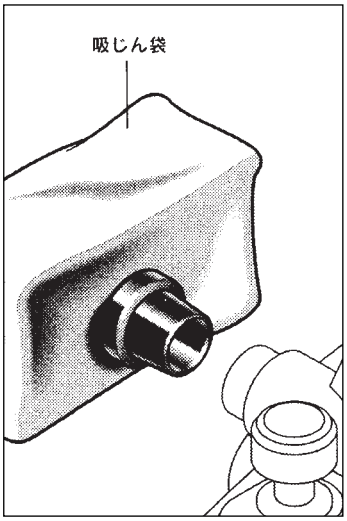
〈アドバイス〉

- 切削する際は、平行・角度ガイド（もしくは平行ガイド）を材料の側面にピッタリ付けるようにしてください。
  すき間があると削り幅が一定せず、むらが出ます。

※「水返し」をつくる場合は、
相じゃくり深さガイド　＋　平行・角度ガイド　を使用し、
平行・角度ガイドで任意の角度（～45°）を設定し、「相じゃくり」をつくる同じ手順で行います。

吸じん袋を使う　※別売アクセサリー

⚠注意 ：取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください



切削作業をする時に吸じん袋を使いますと、切粉が周囲に飛散せず、じん害を大幅に減少することができます。

切粉排出口（左右どちらでも可）に直接差し込んで取り付けてください。

切削作業中、吸じん袋が切粉でいっぱいになったら直ちに作業を中断し、中の切粉を出してください。

※吸じん袋は布製ですので、中の切粉を出すことにより何回でも使えます。

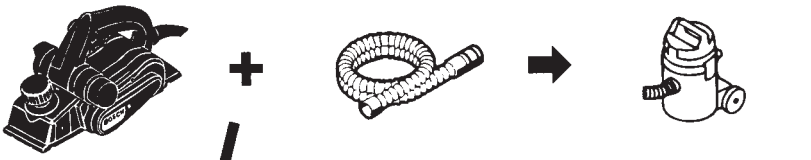
吸じん装置を使う　※別売アクセサリー（及び本体）

〔本機への取り付け方はP.20を参照してください〕

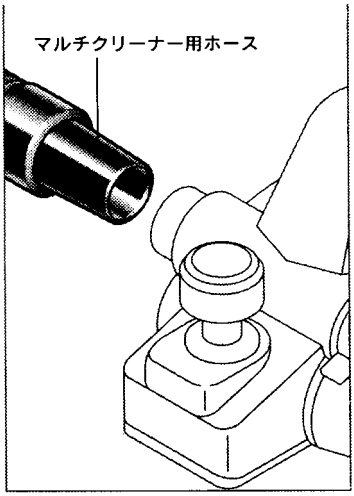
⚠注意 ：取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りプラグを電源から抜いてください。

ボッシュマルチクリーナーと接続することで、切削中の防じん効率が高くなります。

〈吸じんシステム〉



本　機　　※ φ35mmホース（マルチクリーナー付属）　　ボッシュ マルチクリーナー



切粉排出口（左右どちらでも可）に直接差し込んで取り付けてください。

※吸じん専用ホースを使用する場合は、マルチクリーナーに専用のホース（システム）アダプターが必要になります。
詳しくは、マルチクリーナーの取扱説明書をご覧ください。

メンテナンス

- 作業後、本機に付いた切粉等は取り除いてください。
  （切粉排出口、通風口、かんな刃周辺、メインスイッチ周辺等）
- 削れなくなったり欠けたりしたかんな刃は両刃の反対側（未使用分）を使用するか、取り換えてください。
  （本かんな刃は再研磨できません）
- カーボンブラシ、ベルト等の消耗品は、使用状況・頻度に合わせ定期的にメンテナンスを依頼してください。

故障かな？と思ったら

①まず取扱説明書をよくお読みください。

②次に症状が下記に当てはまるかどうかチェックしてみてください。

症　状	考えうる発生原因	対処方法
作動しない。	●電源プラグがコンセントから抜けている。	●電源プラグをコンセントに確実に差し込む。
	●カーボンブラシの消耗。 ※機体内部の消耗品です。	●カーボンブラシの交換とメンテナンスを依頼する。
	●内部パーツの不良。	●修理を依頼する。
削れているのに、切粉が排出されない。	●切粉排出口に切粉がつまっている。	●切粉排出口の切粉を取り除く。
	●切粉排出口切替レバーが中途半端な位置になっている。	●切粉排出口切替レバーをⒶかⒷ側へ完全に倒す。（P.14参照）

③上記の①、②でもご不明の点につきましてはお買い求めの販売店または弊社までおたずねください。

④修理をご依頼なさる場合は、お買い求めの販売店にご相談くださるかまたは製品に同封されております、修理店リストの中の最寄りの修理店までご相談ください。

⑤〈ご注意〉

万が一当取扱説明書に記載した通り正しくお使いいただいたにもかかわらず不具合が発生した場合は（消耗品を除く）、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。当社にて現品を点検調査の上対処させていただきます。お客様のご使用状況により、修理費用を申し受ける場合がありますのでご了承ください。

使用済電動工具のリサイクル

電動工具本体の回収にご協力ください

ボッシュでは、使用済電動工具本体のリサイクル活動を推進しております。使用済電動工具本体の処理については、お買い求めになったボッシュ電動工具販売店へご相談ください。

資源保護のため、環境保護のため、ボッシュの推進するリサイクル活動に是非ご協力くださいますようお願い申し上げます。

※電動工具の回収ーリサイクルは、ボッシュ製品に限らせていただきます。

仕　　様

型　式　番　号	GHO 10-82
電　　源	AC 100V 50-60Hz
消費電力（入力）	710W
回　転　数	16,500回転／分（無負荷時）
切　削　幅	82mm
切　削　深　さ	最大1.0mm
相じゃくり深さ	最大　9mm
質　　量	2.5kg
コ　ー　ド	4m

● 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
● 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
● 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。

BOSCH

ボッシュ株式会社　電動工具事業部

ホームページ：http//www.bosch.co.jp

〒224-8501　神奈川県横浜市都筑区牛久保 3-9-1

お客様ご相談フリーダイヤル

0120-345-764

（土・日・祝日を除く、午前10：00～12：00、午後1：00～4：00）

EMA-GHO 10-82